

法人税 確定申告書（ 年分・平成〇〇年〇月〇日 事業年度分・ ）に係る

平成△△年△月△日

税理士法第33条の2第1項に規定する添付書面

33の2①

				※整理番号				
税理士又は 税理士法人	氏名又は名称		税理士 国税 太郎 ⑩					
	事務所の所在地		東京都千代田区霞ヶ関〇-〇-〇 電話 (03) 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇					
書面作成に 係る税理士	氏 名		税理士 国税 太郎 ⑩					
	事務所の所在地		東京都千代田区霞ヶ関〇-〇-〇 電話 (03) 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇					
	所属税理士会等		東京 税理士会 〇〇 支部 登録番号 第 〇〇〇〇〇号					
税務代理権限証書の提出			☒ (法人税・消費税) ・ 無					
依 頼 者	氏名又は名称		株式会社 〇〇商事 代表取締役 〇〇 一郎					
	住所又は事務所の所在地		東京都千代田区霞ヶ関〇-〇-〇 電話 (03) 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇					
私（当法人）が申告書の作成に関し、計算し、整理し、又は相談に応じた事項は、下記の1から4に掲げる事項であります。								
1 自ら作成記入した帳簿書類に記載されている事項								
帳 簿 書 類 の 名 称				作成記入の基礎となった書類等				
コンピュータ処理により作成した仕訳帳、総勘定元帳、試算表、月次損益推移表、貸借対照表、損益計算書、利益処分計算書、キャッシュフロー（資金繰表を含む）計算書、各種対比グラフ、勘定科目内訳明細書、法人事業概況書、固定資産台帳関係、月次仕訳伝票の追加と期末整理会計伝票作成				依頼者が自ら起票した仕訳伝票、現金出納帳、預金通帳、保険契約預り金台帳、請求書、領収書、仮払精算帳、その他証憑書類				
2 提示を受けた帳簿書類（備考欄の帳簿書類を除く。）に記載されている事項								
帳 簿 書 類 の 名 称				備 考				
仕訳伝票、現金出納帳、預金通帳、保険契約預り金台帳、請求書、領収書、仮払精算帳、その他証憑書類				得意先台帳、成約契約書控綴				
※事務 処理欄	部門	業種			意見聴取連絡事績		事前通知等事績	
					年 月 日	税 理 士 名	通知年月日	予定年月日
					・ ・		・ ・	・ ・

		※整理番号	
3 計算し、整理した主な事項			
	区 分	事 項	備 考
(1)	受取手数料	すべて代理する保険会社より精算し預金収入されるため、収入としての記入漏れ等は一切ない。また、契約お客様からの預り金は、すべて預り保険料として管理されており、記入漏れする可能性はない。	預り金集計表、預金口座通帳、契約日の確認
	接待交際費	会社の交際費処理科目以外に交際費等となるものがあるか否かを、月次監査及び決算監査で再確認している。結果すべての処理に対し該当するものは交際費として処理、したがって交際費以外の科目に該当金額はない。	領収書、請求書、仮払精算帳。不明な点は口頭で確認 他科目交際費について、税理士が検討・確認しており、調査省略等の参考となる。
	通信費、水道光熱費、車両関係諸費	本社は、代表者よりの賃貸店舗。二階以上は個人住宅であるが、個人用と会社用は、その契約がすべて別途あるため、混在する可能性はない。	契約の確認及び使用金額の確認 個人的経費の損金計上の有無について、税理士が検討・確認しており、調査省略等の参考となる。
(2)	(1)のうち顕著な増減事項		増 減 理 由
	受取手数料	当期においても大型長期契約物件が成約出来たため、〇年〇月～〇月の月間比較推移高が他の月より大幅に上昇。この期間増加が年間売上高の前期比較増として貢献している。	法人の業績についての記載があり、調査省略等の参考となる。
	給料手当	業績好調から今期末も決算賞与×××千円を計上している。また定例昇給を増額。その分の増加である。	
接待交際費	前期比×××千円程度増加しているが、売上貢献のために少々無理しているが、内容に問題になる点はない。		
(3)	(1)のうち会計処理方法に変更等があった事項		変 更 等 の 理 由
	該当無し		

		※整理番号	
4 相談に応じた事項			
事 項		相 談 の 要 旨	
経営方針等ではありますが、税務上では特になし			
5 その他			
自ら作成した帳簿書類には、納税者が作成した書類等の計算正確性を確かめた上で、パーソナルコンピュータの計算プログラムに入力処理したものであり、書類等の計算・記載は当然の事ながらその入力上において正確無比なものです。また、その元となりました帳簿書類、請求書・領収書、銀行預金帳等の一切の書類は整然、明瞭に会社において保管されております。 近頃のキャッシュフローの重要性、健全な会社運営の方向性、この不況時の会社運営。問題は山積の中、今期の業績も目を見張るものがあります。健全な経営観の元、よくがんばられました。売上高の上昇傾向は大変喜ばしいことです。来期も一層の発展を願いやみません。 なお、旅費交通費に増加が見られますが、東京出張及び会議出席によるもので、致し方ないものです。交際費もその関係者に対する増加額です。			